

## マングローブ生態系と持続可能な沿岸開発 募集要項(2026年度前期)

### 1. プログラムの目的

本プログラムは、海外フィールドにおいて、多様な背景を持つ学生とともに、地域が直面する課題について現地調査やフィールドワークを行い、グループディスカッションや成果発表などの多文化共修を通じて、課題を多面的・構造的に捉える力を養い、課題解決に向けた提案に挑戦するプログラムです。本プログラムでは、「国際共修チームプロジェクト」および「国際共修ワークショップ」の2科目を履修します。

### 2. コース概要

渡 航 先 ハサヌディン大学,マカッサル(インドネシア)

コーステーマ マングローブ生態系と持続可能な沿岸開発

渡 航 期 間 2026年8月23日～9月9日(18日間)

※上記期間以外に、事前学習や帰国後のワークショップがあります。

プログラム内容 ハサヌディン大学の学生と協働し、マングローブ生態系の保全と沿岸地域の持続可能な開発について、環境・社会・経済の複数の観点から課題探究に取り組みます。

### 3. コーステーマの背景

マングローブ生態系は、二酸化炭素を吸収・貯留するブルーカーボンとして注目され、カーボンニュートラルや排出権取引の面でも重要性が高まっています。また、高潮や波浪の影響を和らげる防災・減災機能を持ち、生物多様性や地域の暮らしを支える基盤でもあります。一方で、沿岸開発や気候変動により減少・劣化が進んでおり、保全と持続可能な利用の両立が課題となっています。

### 4. コーススケジュール

日程	滞在地	主な内容
8月23日	広島空港→経由地(未定)	出発
8月24日	経由地(未定)→マカッサル	到着,オリエンテーション,現地学生との交流
8月25日～9月8日	ハサヌディン大学 マカッサル周辺フィールド	フィールドワーク,グループディスカッション,成果発表等
9月8日	マカッサル→ジャカルタ	出発
9月9日	ジャカルタ→広島空港	帰国

※日程及び内容は、現地事情等により変更となる場合があります。

### 5. 募集対象・人数

対 象 博士課程前期・後期に在籍する学生(国籍、所属研究科・専門分野は問いません)

募 集 人 数 6人

## 6. 応募要件

以下の全ての要件を満たす必要があります。

- (1) 広島大学の修士課程または博士課程に在学する正規生であること(国籍不問)
- (2) プログラム申請時から終了時までの期間中に,休学中又は留学中でないこと
- (3) プログラム期間中,インドネシアへの渡航及び現地での活動が可能であること
- (4) マングローブ生態系や沿岸地域の課題に関心を有していること
- (5) 学業成績が優秀であること
- (6) 英語による基本的なコミュニケーションおよび協働に取り組む意思があること
- (7) 事前学習,現地研修,事後ワークショップを含む全プログラムに参加できること
- (8) インドネシアに渡航可能な査証(ビザ)を取得できること
- (9) 保護者・保証人の同意が得られること(参加決定後に,保護者/保証人による同意・誓約書の提出を必須とします)
- (10) プログラム終了後のアンケート,成果共有,広報活動等に協力できること(活動写真や成果物等を Web サイトや SNS 等に掲載する場合があります)

## 7. プログラム参加費

プログラム参加費 5万円

広島大学基金等による支援により,学生負担額は5万円となっています。プログラム修了後には,報告書(所定様式)が必要です。広島大学基金室より取材等をお願いする場合があります。プログラムに必要な,航空券,宿泊費,現地プログラム費の経費の支払に充てられます。

## 8. 個人が負担する主な費用について

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| ① 海外旅行保険(必須)          | 大学指定の海外旅行保険への加入(6~8千円程度)                        |
| ② パスポート申請費用           | 有効なパスポートを所持していない場合は,各自で申請する必要があります。             |
| ③ 査証(ビザ)取得関連費用        | インドネシア入国に必要な査証(ビザ)の取得は,国籍によって必要な手続きや申請方法が異なります。 |
| ④ 日本国内交通費<br>(自宅~空港間) | 集合と解散は広島空港を予定しています。自宅から空港までの交通費は各自の負担となります。     |
| ⑤ その他費用               | 現地交通費,食費,お小遣い,任意の予防接種費用等                        |

## 9. 海外留学支援制度(協定派遣)による支援について 別紙参照

本プログラムは,独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)による海外留学支援制度(協定派遣)の対象となる予定です。支給要件を満たし,所定の手続きを行った学生は,留学費用の一部について支援を受けられる場合があります。主な対象は日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者等です。対象要件,提出書類,締切等の詳細は,別紙「海外留学支援制度(協定派遣)による支援について」を確認してくだ

さい。なお、支援制度の対象とならない場合でも、本プログラムへの応募・参加は可能です。

#### 10. 単位付与について

プログラム参加者は「国際共修チームプロジェクト(1単位)」、「国際共修ワークショップ(1単位)」の合計2単位の履修が必須となります。単位認定および評価はシラバスを参照ください。

#### 11. 応募について

本科目への参加を希望する場合は、以下の応募書類を準備の上、応募期限までにオンライン応募フォームから必要事項の入力および必要書類の提出を行ってください。

応募期限 **2026年6月14日(日)**

必要書類 ・英語能力を確認できる書類(PDF または画像ファイル)  
・成績証明書(PDF または画像ファイル)

提出先 オンライン応募フォーム(志望動機・学修・活動状況の入力が必要です)

※あくまで予定であり、スケジュール内容は変更となる可能性があります

#### 12. 面接審査について

書類審査を行い、必要に応じて面接審査を実施します。審査は、以下の観点から総合的に行います。

(1) 書類審査 学業成績、これまでの学修・活動状況及び志望動機について審査します。

(2) 面接審査 書類審査の結果、必要と認められる者を対象に、志望動機、本プログラムの目的への理解、英語による基本的なコミュニケーション能力及び協働に取り組む姿勢について審査します。

※ 面接の日時については、今後、Teams や大学のメールアドレスにてご連絡をするので、毎日確認してください。

#### 13. 個人情報について

本プログラムへの応募に際して収集した個人情報(応募フォーム及び参加申込書に記載された情報)は、プログラム参加者選考の範囲内で適切に取り扱います。本事業に応募した方は、この個人情報の取扱いに同意したものとみなします。

#### 14. スケジュール

5月22日(金)	募集要項公開
6月14日(日)	応募締切
6月15日(月)～順次	選考(インタビュー形式の面接)
	選考結果通知(メールで連絡予定)
	※1～2週間以内にご連絡します

15. 留学中の学籍上の取り扱いについて

本プログラムにより海外留学する場合は、事前に「留学願」を所属学部・研究科の学生支援担当に提出し、学長の許可を得る必要があります。

16. 海外留学にかかる安全管理について

海外渡航に必要な手続きや安全管理の詳細は、参加者へ別途案内します。参加者は、大学の指示に従い、必要な手続きを期限までに行ってください。主な必要事項は以下のとおりです。

- (1) 渡航前オリエンテーションへの参加
- (2) 外務省渡航情報サービス「たびレジ」への登録
- (3) 本学指定の海外旅行保険への加入
- (4) 海外渡航申請システムによる届出
- (5) 渡航先・滞在先に関する安全情報の確認

外務省 海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>

たびレジ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

世界の医療事情(外務省ホームページ) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

厚生労働省検疫所 FORTH (For Travelers' Health) <https://www.forth.go.jp/index.html>

海外旅行の健康管理 -感染症対策-(広島大学保健管理センターのページ) [https://health.hiroshima-u.ac.jp/?page\\_id=72](https://health.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=72)

17. 辞退等に係る取り扱いについて

参加決定後、渡航手続き等の開始後は、原則として辞退は認められません。やむを得ない事情により辞退する場合は、速やかにプログラム担当者へ連絡してください。辞退時点で手配済みの航空券・宿泊等にキャンセル料等が発生する場合は、原則として学生本人の負担となります。個人で手配した費用についても同様とします。

18. その他

パスポート・査証について

参加者は、有効なパスポートを準備し、期日までに写しを提出してください。有効なパスポートを所持していない場合は、早めに申請・更新手続きを行う必要があります。パスポート申請には住民票等の書類準備や一定の日数を要するため、余裕をもって対応してください。パスポートや査証(ビザ)等の取得遅延により参加できなくなった場合、本学は責任を負いません。

欠席について

オリエンテーション、事前学習、現地研修、事後ワークショップを含む全プログラムへの参加を必須とします。自己都合(アルバイトやサークル活動等を含む)による欠席があった場合は、参加を取り消すことがあります。

履修について

所属学部・研究科の履修条件や履修上限等を各自で確認し、必要に応じて学生支援室や指導教員へ相談のうえ、応募してください。

変更について

申請内容に変更が生じた場合は、速やかに担当者へ連絡してください。

中止について	自然災害,国際情勢,航空会社,研修先等の事情により,プログラム内容の変更または中止となる場合があります。
携帯電話について	緊急連絡用として,現地で使用可能な携帯電話を各自で準備してください。

19. 問い合わせ先

国際室国際部グローバル化推進グループ(西図書館 3Fグローバルラーニングセンター)

メール: [glc@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:glc@office.hiroshima-u.ac.jp) TEL:082-424-2037

## **Mangrove Ecosystems and Sustainable Coastal Development Application Guidelines (First Semester, AY 2026)**

### **1. Program Objectives**

In this program, participant students will conduct on-site investigations overseas on issues facing local communities, together with peers from diverse cultural backgrounds. Through multicultural collaborative learning activities including fieldwork, group discussions and presentations, participants are expected to develop the ability to analyze these issues from multifaceted and structural perspectives and to propose solutions. This program comprises two courses: “International Collaborative Team Project” and “International Collaborative Workshop.”

### **2. Course Overview**

<b>Destination</b>	Hasanuddin University, Makassar (Indonesia)
<b>Course Theme</b>	Mangrove Ecosystems and Sustainable Coastal Development
<b>Travel Period</b>	August 23 – September 9, 2026 (18 days) ※ In addition to the above period, pre-departure learning sessions and a post-return “International Collaborative Workshop” will also be held.
<b>Program Content</b>	Working together with students from Hasanuddin University, participants will investigate issues related to mangrove ecosystem conservation and sustainable coastal development from environmental, social, and economic perspectives.

### **3. Course Background**

Mangrove ecosystems have drawn growing attention as “blue carbon” sinks that absorb and store carbon dioxide, and their role in carbon neutrality and emissions trading is increasingly significant. They also serve as natural barriers that mitigate the impact of storm surges and waves, and form the foundation for biodiversity and local livelihoods. At the same time, coastal development and climate change continue to drive their decline and degradation, making the balance between conservation and sustainable use an urgent challenge.

### **4. Course Schedule**

<b>Date</b>	<b>Location</b>	<b>Main Activities</b>
August 23	Hiroshima Airport → Transit point (TBD)	Departure

August 24	Transit point (TBD) → Makassar	Arrival, orientation, and ice-breaker with local students
August 25 – September 8	Hasanuddin University & field sites around Makassar	Fieldwork in mangrove areas; group discussions, presentations, etc.
September 8	Makassar → Jakarta	Departure
September 9	Jakarta → Hiroshima Airport	Return to Japan

Note: Dates and program content may change depending on local circumstances and other factors.

## 5. Eligibility and Cohort Size

Who Can Apply	Students enrolled in either master's or doctoral programs (open to applicants of all nationalities, graduate schools, and fields of specialization)
Cohort Size	6

## 6. Application Requirements

Applicants must meet all of the following requirements.

- (1) Be a regular student enrolled in a master's or a doctoral program at Hiroshima University (open to applicants of all nationalities).
- (2) Not be on leave of absence or studying abroad during the period from application to completion of the program.
- (3) Be available to travel to Indonesia and participate in all on-site activities during the program period.
- (4) Have an interest in mangrove ecosystems and issues concerning coastal sustainable development.
- (5) Demonstrate strong academic performance
- (6) Be willing to engage in basic English communication and collaboration.
- (7) Commit to participating in every part of the program, including pre-departure learning sessions, on-site investigation, and the post-return workshop.
- (8) Be eligible to obtain a visa for travel to Indonesia.
- (9) Be able to obtain consent from a parent or guarantor. (Selected participants will be requested to submit a signed consent and pledge form from a parent or guarantor.)
- (10) Be willing to participate in post-program surveys, share program outcomes, support publicity activities, etc. (Photos and program deliverables may appear on websites, social media, and other channels.)

## 7. Program Participation Fee

Program Participation Fee	JPY 50,000
---------------------------	------------

With support from the Hiroshima University Fund and other sources, each participant's share of the cost is JPY 50,000. After the program, participants must submit a final report on the provided template. The Hiroshima University Fund Office may reach out to participants for interviews or other promotional cooperation. The participation fee will be applied to expenses necessary for the program, including airfare, accommodation, and local program costs.

## 8. Additional Costs at Participant's Expense

① Overseas Travel Insurance (Mandatory)	Enrollment in the university-designated overseas travel insurance (approx. JPY 6,000 – 8,000)
② Passport Application Fees	Applicants without a valid passport must apply for one independently.
③ Visa-Related Expenses	Visa requirements and procedures for entering Indonesia vary by nationality.
④ Domestic Travel in Japan (between home and the airport)	Participants are expected to gather and disperse at Hiroshima Airport. Transportation costs between home and the airport must be borne by each participant.
⑤ Other Expenses	Local transportation, meals, optional vaccinations, and other personal costs.

## 9. Support under the Overseas Study Support System (Agreement Dispatch) - See Attachment

This program is expected to be eligible for the JASSO Student Exchange Support Program (Scholarship for Study Abroad under Agreement). Applicants who meet the eligibility requirements and complete the prescribed procedures may receive support for part of the overseas expenses. Eligibility is primarily limited to Japanese nationals and permanent residents of Japan. For details regarding eligibility requirements, required documents, deadlines, and so on, please refer to the attachment, "Support under the Overseas Study Support System (Agreement Dispatch)." Applicants who do not qualify for this funding are still welcome to apply and participate in the program.

## 10. Credits

Program participants must complete the following two courses (2 credits total): "International Collaborative Team Project" (1 credit) and "International Collaborative Workshop" (1 credit). Please refer to the syllabus for credit and grading details.

## 11. Application

To apply, applicants must complete the online application form and upload the required documents as

follows by the deadline.

Deadline	Sunday, June 14, 2026,
Required Documents	① Proof of English proficiency when applicable (PDF or image file) ② Academic transcript (PDF or image file)
Form	Online application form (required application form entries: motivation for applying, coursework record, and activity record)

※ This schedule is tentative and subject to change.

## 12. Selection Process

Applications will first be reviewed based on the submitted application materials. Interviews may be conducted as needed. Applicants will be selected through a comprehensive review based on the following criteria:

- |                     |   |
|---------------------|---|
| (1) Document review | Applications will be reviewed based on academic performance, previous academic and extracurricular activities, and the applicant's statement of motivation for applying.  |
| (2) Interview       | Based on the results of the document review, shortlisted applicants may be invited for an interview. The interview will assess the applicant's motivation, understanding of the objectives of this program, basic English communication skills, and willingness to engage in collaborative fieldwork. |

※ Applicants will be notified of the interview date and time via Teams or their university email account. Please check both regularly.

## 13. Privacy Notice

Personal information collected for applications to this program (information entered in the application form and participation application form) will be used solely for the purpose of participant selection. By submitting an application, applicants are deemed to have consented to this handling of their personal information.

## 14. Schedule

May 22, 2026 (Fri.)	Application guidelines released
Jun 14, 2026 (Sun.)	Application deadline
June 15 (Mon.) ~	Interviews (dates/times will be notified separately)
Within 1 week after interviews	Notification of selection results (planned to be sent by email)

## 15. Student Status During Study Abroad

Before departure, participants must submit a "Study Abroad Application Form" to their school/graduate school student support office and obtain approval from the University President.

## 16. Safety Management for Overseas Study

Detailed travel and safety procedures will be shared with selected participants separately. Participants must follow the university's instructions and complete the required procedures by the deadlines. Main required items are as follows.

- (1) Participation in the pre-departure orientation
- (2) Registration with the Ministry of Foreign Affairs overseas travel registration service, "Tabi-Regi"
- (3) Enrollment in the overseas travel insurance designated by Hiroshima University
- (4) Filling a notification through the Overseas Travel Application System
- (5) Reviewing safety information for the destination and accommodation locations

MOFA Overseas Safety Website	<a href="https://www.anzen.mofa.go.jp/">https://www.anzen.mofa.go.jp/</a>
Tabi-Regi	<a href="https://www.ezairyu.mofa.go.jp/">https://www.ezairyu.mofa.go.jp/</a>
Medical Information for Travelers (MOFA website)	<a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html">https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html</a>
Ministry of Health, Labor and Welfare Quarantine Station FORTH (For Travelers' Health)	<a href="https://www.forth.go.jp/index.html">https://www.forth.go.jp/index.html</a>
Health Management for Overseas Travel - Infectious Disease Prevention (Hiroshima University Health Service Center page)	<a href="https://health.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=72">https://health.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=72</a>

## 17. Withdrawal Policy

Once a participant has been selected and travel arrangements are underway, withdrawal is generally not permitted. In case of unavoidable circumstances requiring withdrawal, please contact the program coordinator as soon as possible. Any cancellation fees for flights, lodging, or other arrangements already made will generally be the participant's responsibility. The same applies to any expenses the participant has arranged on their own.

## 18. Important Notes

Passport and Visa	Participants must hold a valid passport and submit a copy by the deadline. If you do not have a valid passport, you must apply for or renew it as early as possible. Passport applications require supporting documents (such as a certificate of residence) and several days to process, so please plan ahead. Hiroshima University is not responsible for inability to participate caused by delays in obtaining a passport, visa, or other required documents.
Absence	Full participation in every component of the program, including pre-departure learning sessions, on-site investigation, and the post-return workshop, is

required. Absences for personal reasons (e.g., part-time work or extracurricular activities) may result in cancellation of participation in the program.

**Course Registration** Before applying, review your school/graduate school's course registration rules and credit limits, and consult your student support office or academic advisor as needed.

**Changes** If there are any changes to the information submitted in your application, please contact the program coordinator promptly.

**Cancellation** The program may be modified or cancelled due to natural disasters, geopolitical circumstances, airline disruptions, circumstances at the host institution, or other unforeseen factors.

**Mobile Phone** For emergency contact purposes, each participant must prepare a mobile phone that can be used in Indonesia.

## **19. Contact**

Globalization Promotion Group, International Affairs Department, International Office (Global Learning Center, 3rd floor, West Library)

Email: [glc@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:glc@office.hiroshima-u.ac.jp) TEL: 082-424-2037